ECOACTION21

環境経営レポート

第8番札所　熊谷寺

（対象期間　2024年1月～2024年12月）

株式会社大木建設

2025年2月6日発行

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
認証番号 0006968

目次

1. 組織の概要

1)事業者名および代表者名
2)適用範囲(認証・登録範囲)
3)環境保全の責任者名
4)事業の概要
5)事業の規模

2. 実施体制

3. 企業理念・環境経営方針

4. 環境経営目標及び環境経営計画の実績、
並びに次年度の環境経営目標

5. 環境経営計画の具体的施策、取組結果・
評価及び次年度の取組内容

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

8. 環境保全活動等の紹介

蜂須賀桜

1.組織の概要

1)事業者名及び代表者名

事業者　　株式会社　大木建設
代表者名　　代表取締役　大木　公明

2)適用範囲

1.サイト

1）本社

〒771-1502
徳島県阿波市土成町水田字中筋100-1
TEL　088-695-3139
FAX　088-695-4749

2）資材置場

〒771-1502
徳島県阿波市土成町水田字中筋42-1

3）建設現場

2.対象者

（全組織、全活動）全従業員

3)環境保全活動の責任者

環境管理責任者　　総務課担当者
e-mail:ohgik@aa.alles.or.jp

4)事業の概要

特定建設業（許可番号　徳島県知事許可(特-2)第727号）
一般建設業（許可番号　徳島県知事許可(般-2)第727号）
土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、建築工事業、造園工事業

5)事業の規模

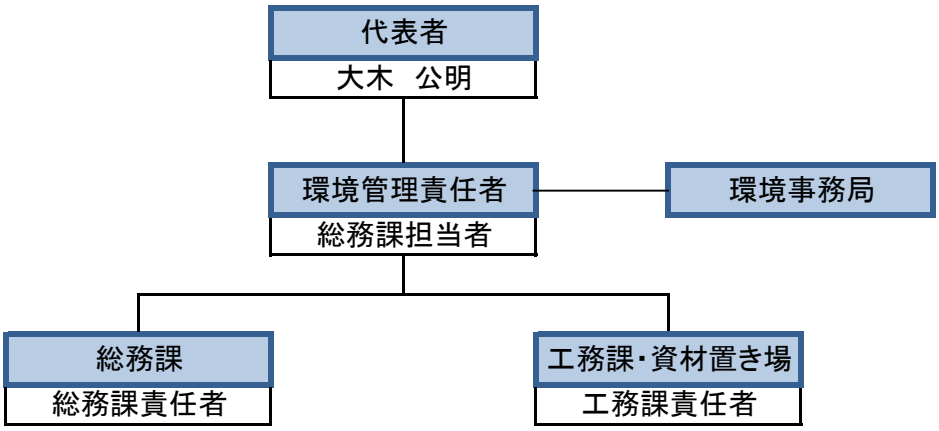
	2024年度
	実績
売　上（千円）	71,385
人　　員	7名
機　械　類	油圧ショベル他
本社床面積㎡	227
資材置場(倉庫)床面積㎡	167

6)認証・登録の範囲

対象事業所：本社、資材置場
活動：建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、
しゅんせつ工事業、造園工事業、水道施設工事業）

2.実施体制

実施体制図



担当	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関すると統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人・設備・費用・時間・技能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定見直し及び全従業員への周知 ・課題とチャンスの明確化 ・環境経営目標の設定を承認 ・環境経営活動レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者 環境事務局	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等のチェックリストの作成 ・環境経営目標、環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成
総務課	・環境管理責任者の補佐 ・EA21に関する事務補佐（保管等）
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・環境改善への意見提案や異常時の上司への報告

環 境 経 営 方 針

【企業理念】

株式会社大木建設は、建設業を通して地球・地域環境の保全とその継承の重要性を認識し
環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。
この理念は、環境経営方針に反映し、後継者及び次世代へ伝承していきます。

【環境経営方針】

株式会社大木建設は、次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の
環境保全に貢献する企業を目指し活動します。

1. 当社に適応した環境マネジメントシステム構築及び実施運用を行い、継続的改善及び
環境負荷の低減をします。

2. 当社の事業活動に関わる環境関連法令（条例を含む）及びその他要求事項を遵守します。

3. 当社の事業活動の関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして
自主的、積極的に取り組みます。

   1） 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減 （原単位削減）

   2） 水資源使用量の削減 （原単位削減）

   3） 廃棄物の発生抑制及び適正処理

   4） 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）を含めた環境教育訓練に取り組む

   5） もったいない運動によるムリ、ムダ、ムラを省き経費削減を行う

   6） 会社及び建設現場周辺の清掃ボランティア活動への参加

   7） エコドライブ及び車両整備の実施による環境配慮活動
   （PDCA)を推進します。

4. 上記の方針達成の為に環境経営目標を設定し、環境経営の継続的
改善を誓約致します。

5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実施できるように、環境経営方針を全従業員
及び協力会社に周知します。
この環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社内外に公表します。

2010年 10月 9日　制定
2020年　9月 9日　改定

株式会社　大木建設
代表取締役　大木公明

4. 環境経営目標及び環境経営計画の実績、並びに次年度の環境経営目標

2023年～2025年（中期3ヶ年）環境経営目標及び環境経営計画の実績表

2020年度～2022年度の実績平均値を基準とした中期3ヵ年目標　CO2排出量削減（原単位）

管理項目	管理単位	2020～2022年3年間実績 平均値　（基準値）　140百万円	2023年 目標と実績　目標　140百万円 実績　72百万円		2024年 目標と実績　目標 142百万円 実績　71百万円		2025年 目標と実績 目標　145百万円 実績　百万円		2024年 達成率	取組結果
電力	使用量 Kwh	4,000	目標	4,000	目標	4,000	目標	4,000	114%	○
			実績	4,354	実績	4,198	実績	0		
	CO_2排出量 Kg－CO_2	2,132	目標	2,132	目標	2,132	目標	2,132		
			実績	2,321	実績	1,877	実績			
灯油	使用量 ℓ	360	目標	360	目標	360	目標	360	101%	○
			実績	320	実績	356	実績	0		
	CO_2排出量 Kg－CO_2	896	目標	896	目標	896	目標	896		
			実績	796	実績	886	実績	0		
軽油	使用量 ℓ	11,030	目標	11,030	目標	11,030	目標	11,030	222%	○
			実績	9,789	実績	4,964	実績			
	CO_2排出量 Kg－CO_2	28,526	目標	28,526	目標	28,526	目標	28,526		
			実績	25,316	実績	12,839	実績	0		
ガソリン	使用量 ℓ	1,397	目標	1,397	目標	1,397	目標	1,397	50%	×
			実績	3,709	実績	2,771	実績			
	CO_2排出量 Kg－CO_2	3,243	目標	3,243	目標	3,243	目標	3,243		
			実績	8,612	実績	6,433	実績	0		
LPG	使用量 Kg	18.9	目標	18.9	目標	18.9	目標	18.9	124%	○
			実績	16	実績	15	実績			
	CO_2排出量 Kg－CO_2	56.6	目標	56.6	目標	56.6	目標	56.6		
			実績	47	実績	46	実績	0		
CO_2総排出量 Kg－CO2		34,854	目標	34,854	目標	34,854	目標 累計	34,854	158%	○
			実績	37,092	実績	22,081	実績 累積	0		
CO_2総排出量 原単位 Kg－CO_2／百万円		**249**	目標	**249**	目標	**245**	目標	**240**	79%	×
			実績	515	実績	311	実績			
廃棄物排出量(t)		389	実績	371	実績	30	実績			
廃棄物リサイクル量(t)		389	実績	371	実績	30	実績			
廃棄物リサイクル率(%)		100	目標	100	目標	100	目標	389	100%	○
			実績	100	実績	100	実績			
水総使用量(㎥)		33	目標	33.0	目標	33.0	目標	33.0	92%	△
			実績	30.0	実績	36.0	実績			

※電力の排出係数は、0.447kg-CO_2/kWhを採用する。（四国電力　2022年度実績）　※水総使用量基準値　2022年度実績
※化学物質の使用はありません

取組み項目	具体的取組	2023年		2024年		2025年	
		取組目標	取組結果	取組目標	取組結果	取組目標	取組結果
エコドライブによる環境配慮活動	・車両の低燃費運転 ・アイドリングストップ ・定期点検の実施 ・建設重機の省燃費運転	○	○	○	○	○	
工事現場での清掃活動の実施	・週に1回の現場事務所付近清掃活動の実施 ・現場の散水清掃の徹底	―	―	△	×	△	
工事内容の創意工夫と工期遵守	・創意工夫をする ・工期を守る	―	―	△	×	△	

※取組結果の評価（達成率評価）　×悪い　79%以下　△まあまあ　80～99%　○良好　100%以上

5.環境経営計画の具体的施策、取組結果・評価及び次年度の取組内容

1）取組施策

削減取組項目	2024年1月～2024年12月（1年間）具体的施策の実行
①電力削減	1.使用電力の情報収集（毎月の使用量を把握） 2.空調　夏28度・冬23度(適正管理)　冬はストーブを併用 3.不要な照明の消灯、OA機器節電（自然光を利用。休憩時の消灯） 4.クールビズ、ウォームビズを推奨する 5.不必要な残業はしない（業務終了後は速やかに消灯する）
②燃料削減 （ガソリン・軽油・灯油）	1.作業車、建設重機等のエコドライブ(アイドリングストップ等)の徹底 2.走行距離の短縮 3.効率的な車両の利用　（乗り合せ等・・・） 4.不必要品の積載禁止
③水資源使用量の削減	1.洗車、散水時の節水 （ホースから水の出しっぱなしは厳禁） 2.トイレの流水量を最小にする 3.給湯・台所・洗面 （石鹸や洗剤は適量を使用）
④廃棄物の削減 産業廃棄物の適正処理	1.排出業者へのゴミの分別指導の実施 2.ミスコピーの削減 3.コピー用紙の両面使用 4.古新聞、カタログ等は回収業者に出す事を徹底する 5.産業廃棄物のリサイクル率100% 6.建設副産物の再生処理の推進 ＊産業廃棄物リサイクル率は特定建設資材についての目標
⑤5S・教育	1.個人別ニーズを特定し、1年間の教育計画作成、実行する
⑥もったいない運動による経費削減	1.事前計画を行うことで工事工程にムリ、ムダ、ムラをなくす 2.必要以上の建設資材を購入しない
⑦ボランティア	1.アドプト事業に参加（8月・11月・12月） 2.四国遍路みち清掃活動（9月）
⑧エコドライブ及び車両整備の実施による環境配慮活動	1.走行前のタイヤの空気圧・車両の点検・整備の徹底 2.ムダなアイドリングをしない 3.急発進、急減速をしない運転を心掛ける 4.重機のフルパワー操作抑制
⑨工事現場での清掃活動の実施	1.工事現場付近の清掃活動（週1回） 2.作業終了時には必ずゴミや廃材を分別保管し、道具や資材は整理整頓する
⑩工事内容の創意工夫と工期遵守	1.事前計画を行うことで工事工程にムリ、ムダ、ムラをなくす 2.工期を守る 3.建設資材品は必要なものを必要なだけ購入する 4.グリーン購入の促進

5.環境経営計画の具体的施策、取組結果・評価及び次年度の取組内容

2）取組結果とその評価

取組項目	取組結果	取組評価 （2024年1月～2024年12月）
①電力削減	○	順調に削減に取り組めている。クールビズ、ウォームビズを取り入れながら今後も引き続き電気使用量の削減に努める。
②燃料削減 （ガソリン・軽油・灯油）	○	今期は受注工事が少なく燃料使用量も少なかったため、結果として二酸化炭素排出量の目標を大幅達成できた。削減意識はしっかりと根付いている。
③水資源使用量の削減	○	目標達成できなかったが、節水に対する意識は高い。
④廃棄物の削減 産業廃棄物の適正処理	○	今期は受注工事が少なく廃棄物の総排出量も少なかった為、目標達成できた。混合廃棄物の発生はゼロで、特定建設資材は適正処理できている。古新聞、カタログ等は回収業者を引き取ってもらった。
⑤5S・教育	○	事務所・倉庫・各現場における5Sは徹底してできていた。
⑥もったいない運動による経費削減	○	各工事現場責任者及び関係者に3Mの意識は定着し、資機材の繰り返し使用はできていた。
⑦ボランティア	○	例年どおりにアドプト事業(3回/年)を実施できた。
⑧エコドライブ及び車両整備の実施による環境配慮活動	○	重機の燃費向上の為にフルパワー操作抑制に気を付けた。 環境配慮型の機械、車両等の使用率を高めていくようにしている。
⑨工事現場での清掃活動の実施	△	週1回の工事現場付近の清掃は、なかなか出来なかったが、作業終了時には必ず現場の清掃及び道具や資材の整理整頓をし翌日の作業効率も現場の安全性も上がった。
⑩工事内容の創意工夫と工期遵守	△	建設資材品の購入について、残余が出ないように気を付けた。リサイクル商品を優先的に購入できた。

5.環境経営計画の具体的施策、取組結果・評価及び次年度の取組内容

3）次年度の取組内容

取組項目	次年度の取組内容 （2025年1月～2025年12月）
①電力削減	取組みを継続していく
②燃料削減 （ガソリン・軽油・灯油）	取組みを継続していく
③水資源使用量の削減	取組みを継続していく
④廃棄物の削減 産業廃棄物の適正処理	取組みを継続していく
⑤5S・教育	取組みを継続していく
⑥もったいない運動に よる経費削減	取組みを継続していく
⑦ボランティア	取組みを継続していく
⑧エコドライブ及び 車両整備の実施による 環境配慮活動	取組みを継続していく
⑨工事現場での清掃活動 の実施	取組みを継続していく
⑩工事内容の創意工夫と 工期遵守	取組みを継続していく

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規等の遵守状況
当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、
違反はありませんでした。また、関係当局及び住民からの指摘、苦情、訴訟はありませんでした。

評価日：令和6年12月26日

環境関連法規	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・契約内容に該当する許可証、マニフェストの写しの添付 ・マニフェストの管理・保管（５年間） ・マニフェスト交付状況を次年度6月30日までに知事へ報告	○
建設リサイクル法	・発注者への計画等説明と完了報告 ・分別解体 ・再資源化等の促進	○
建設廃棄処理マニュアル	・マニフェストに基づく適正処理の実施	○
建設副産物適正処理推進要綱	・発注者への連絡調整・管理及び施工体制の整備 ・再生資源利用、促進の作成 ・実施状況の記録保管（１年間）	○
騒音規制法	・特定作業員の実施の届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	○
振動規制法	・特定建設作業の実施の届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
建設工事公衆災害防止対策要綱	・近隣住民への周知 ・埋設物の確認、土留工の管理 ・排水処理、地盤沈下等の処理 ・塵芥、騒音防止の措置	○
グリーン購入法	・環境物品等の優先的購入に努める ・環境物品等に関する情報の提供	○
浄化槽法	・浄化槽の適正管理 ・年１回の法廷検査と清掃 ・3ヶ月に1回の保守点検	○
地球温暖化対策推進に関する法律	・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出抑制に努め国、地方公共団体の施策に協力すること	○
再生資源利用省令	・再生資源の利用促進計画書の作成 ・完成後は実施状況を記録 ・１年間保存する	○
フロン排出抑制法	・すべての第１種特定製品は目視点検で3ヶ月に1回以上行い、エンジンの定格出力が大きいものは3年に1回以上十分な知識を有する者が行う。	○
徳島県脱炭素社会の気候変動対策推進条例	・環境マネジメントシステムの導入、推進に努め、排出量がより少なくなるようにする。 ・情報の提供に努める。	○

7.代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役　大木公明

場所：　大木建設事務所

日時：　2025 年　2 月　5日

見直し関連情報

項　　目	環境管理責任者の報告及び改善への提案
環境経営目標及び 目標達成状況	小さな現場が点在しており、個別移動が多く、CO2総排出量は目標達成できませんでした。産業廃棄物排出量はすべて適正処理できています。
環境経営計画の 実施状況	工事内容によって燃料使用量の増減があるが全員が削減意識をしっかり持ち、活動に取り組んでいます。工事現場周辺の清掃活動の定期的な実施、及び工期を守る意識を現場にしっかりと浸透させていきたいです。
環境関連法規要求一覧 及び遵守状況	環境関連法規等への違反、訴訟はなく遵守されています。
外部 コミュニケーション	外部からの苦情はありませんでした。
問題点の是正・ 予防処置の実施状況	問題点の是正はありませんでした。
管理責任者の 全体的な評価	工事工程の事前計画を的確に行い、より一層環境に配慮した取り組みを実施、推進していきたいと思います。

代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価	SDGsについて勉強する機会を設け、少しずつではあるが理解が深まっていると思う。更に来期はSDGsの観点から、施工方法なども創意工夫し環境に配慮した活動を安全最優先で取り組んで欲しい。
環境経営方針	環境経営方針は現状のまま継続していく。
環境経営目標 環境経営計画	受注環境の変動により、各種エネルギー使用量、CO2排出量も変動するが、高い意識をもってこのまま継続して取り組んで欲しい。
その他 （実施体制を含む）	特になし。

8. 環境保全活動等の紹介

●地域貢献活動としてアドプト活動をしています
活動内容:ゴミ収集作業(放置ゴミ類を分別収集)
活動頻度:3回/年

●資機材品を整理整頓して保管してあります

●低騒音、低振動、排ガス対策型の
建設機械を使用しています

●エコアクション継続　感謝状

●エアコンの目標設定温度を表示しています

●BCP活動
（大規模災害発生時には、大木建設緊急対応マニュアルに基づき行動する）

○防災訓練を行いました

○ハザードマップで危険地域の確認をしました

●徳島県BCP認定取得しています
●防災士に認定されています

●夏場はゴーヤを植えてグリーンカーテンをつくりました

●ごみ分別細分化をしています